

「地域密着型金融推進計画」の進捗状況について

平成 17 年 3 月に公表された「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」の取組みにつきましては、平成 15 年から 16 年度の 2 年間における「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム」の取組みの反省点を踏まえつつ、その基本的取組み方針・姿勢を継承しながら、更なる金融サービスの向上等を図ることを目的として、1. 事業再生・中小企業金融の円滑化、2. 経営力の強化、3. 地域の利用者の利便性向上を 3 つの柱とする「地域密着型金融推進計画(17 年～18 年度)」を策定し、その推進に取り組んでおります。

なお、「地域密着型金融推進計画」の平成 17 年 4 月～平成 17 年 9 月の主な進捗状況の概要は下記の通りとなっております。

1. 事業再生・中小企業金融の円滑化

創業・新事業支援機能の強化の取組みでは、得意先担当者 5 名を融資係に配属し総合的な融資審査能力の向上を図っており、公的制度融資の活用を推進しています。

取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化については、こましん研修会を開催しビジネスマッチングと情報交換の場を提供、(独)中小企業基盤整備機構と共催で「中小企業会計啓発普及セミナー」を開催、また、中小企業診断士と業務委託契約を締結し、取引先企業の経営改善支援活動に取り組んでいます。

日本政策投資銀行主催の「地域金融機関との連携による企業支援・事業再生への取組説明会」、知財事業化協会主催の「振興知財ローン説明会」及び各種セミナーに参加し情報収集に努めています。

事業再生に向けた積極的取組みについては、東京チャレンジファンドに組合員加入するとともに、中小企業診断士を活用し積極的に取り組んでおります。

2. 経営力の強化

リスク管理態勢の充実においては、VaR 法による債券リスク測定を実施しています。また、内部格付制度の構築に向け専任的人員を確保し取り組んでおります。

会員に対し、総代会制度等についての理解度及び意見・要望を収集し金庫経営に反映すべくアンケートを実施しました。

コンプライアンス態勢については、監査部による監査及び指導並びにコンプライアンスオフィサー資格者の養成による職員個々の意識の向上を図っています。

情報管理の強化のため、金庫内ネットワークの構築及び暗号化ソフトの導入によるセキュリティ対策に着手しております。また、個人情報の管理・取扱いの徹底を図るため、個人情報オフィサーの養成に努めています。

3 . 地域の利用者の利便性向上

地域貢献に関する情報開示については、17年7月発刊のディスクロージャー誌「REPORT 2005」及びホームページにて、地域貢献への取組みについて情報公開しております。

また、17年8月発刊のシグマ情報誌「新しい風」に関連情報を公開しています。

事業所向商品として、商工会議所との提携によるビジネスローン及び無担保ローンの商品提供を検討しています。

江戸川区信金協議会を通じた各種地域企業支援活動に参加すると共に、地域行事にも積極的に参加しております。